

(様式3)

講 師 一 覧

科目及び項目(講義又は演習等の別)	講師氏名	要件 番号	専任 兼任 の別
1. 職務の理解 (1)多様なサービスの理解(講義・演習)	林尻 はま子	③	兼務
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解(講義・演習)		③	兼務
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (4)生活と家事(講義・演習)		①	兼務
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 III 生活支援技術の演習について (13)介護課程の基礎的理解(講義・演習)		①	演習
10. 振り返り (1)振り返り(講義・演習)		③	兼務
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修(講義)		③	兼務
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (1)人権と尊厳を支える介護(講義・演習)	佐々木 光明	⑥	兼務
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1)介護保険制度(講義 演習) (3)障害者自立支援制度及びその他制度(講義・演習)		④	兼務
3. 介護の基本 (1)介護職の役割、専門性とは職種との連携(講義・演習)		②	兼務
8. 障がいの理解 (3)家族の心理、かかわり支援の理解(講義)	蛇口 真一郎	②	兼務
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (2)自立に向けた介護(講義・演習)	佐々木かすみ	⑥	兼務
3. 介護の基本 (2)介護職の職業倫理(講義・演習)	林崎 由美子	②	兼務
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (6)整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護(講義・演習)		①	兼務
3. 介護の基本 (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント(講義・演習)		②	兼務
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (9)入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護(講義・演習)	山崎 愛里	①	兼務
5. 介護におけるコミュニケーション (1)介護におけるコミュニケーション(講義・演習)	富田 春香	②	兼務
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (10)排泄と関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護(講義・演習)		①	兼務
5. 介護におけるコミュニケーション (2)介護におけるチームのコミュニケーション(講義・演習)	細川 公子	②	兼務
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (7)移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護(講義・演習)		①	兼務

6. 老化の理解 (1) 老化に伴うところとからだの変化と日常 (講義・演習)		②	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (講義・演習)	高橋 則子	①	兼務
7. 認知症の理解 (4) 家族への支援 (講義・演習)	村田 美幸	①	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識について (1) 介護の基本的な考え方 (講義・演習)	高藤 多紀子	①	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (講義・演習)	藤本 勝也	①	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (講義・演習)	吉田 祐子	⑧	兼務
8. 障がいの理解 (1) 障害の基礎的理解 (講義)	中川 貴久江	②	兼務
(2) 障害の医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (講義・演習)		②	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 (演習)		⑤	兼務
3. 介護の基本 (4) 介護職の安全 (講義・演習)	小松 まゆみ	⑤	兼務
7. 認知症の理解 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (講義・演習)		②	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識について (2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解 (講義・演習)		⑤	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 (講義)		⑤	兼務
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (2) 医療との連携とリハビリテーション (講義・演習)	菊池 詞	①	兼務
6. 老化の理解 (2) 高齢者の健康 (講義・演習)	武田 里実子	②	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識について (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (講義・演習)		⑤	兼務
7. 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況 (講義・演習)	千葉 喜久也	⑥	兼務
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (講義・演習)		⑥	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 III 生活支援技術の演習について (14) 総合生活支援技術演習 (演習)		⑩	兼務
9. ところとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術について (5) 快適な居住環境整備と介護 (講義・演習)	佐々木 大輔	⑥	兼務

注) 1 「担当科目(項目)」は、別紙1に定めるカリキュラムの内容毎に記載すること。

2 「要件番号」欄は、その科目(項目)を教授する者として、別紙4のいずれの要件に該当する者であるか、別紙4の各要件に付した番号(①～⑩)を記載すること。なお、当該要件については、「講師履歴」(様式例4)に明記してあること。

3 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。